

1/29
未刊



活発に200万署名の取り組みが話し合われた交流会=26日、名古屋市熱田区

「戦争法廃止」200万署名推進へ

地域で大学で工夫し

愛知

共同センター 学習交流会

憲法改悪反対愛知共同センターは26日、総がかり行動実行委員会などが呼びかける、戦争法廃止を求める200万署名を推進しようとして、名古屋市内で学

習交流会を開きました。署名に取り組んでいる団体・地域から会場いっぱい約218人が参加しました。

交流会を開き、名を成功させようという意気込みを述べた。署名を集めて持つてきた。各団体・地域の20人が発言しました。

名古屋市港区では、区内20学区のうち6学区で全世帯訪問をおこない、署名数が世帯数の1割を超えています。「対話すれば、7〜8割は署名してくれる。東海学区では署名

めてくれる。付属高校生も「僕だけでなく家族の名前を書いてもいいですか」と家族と連名で署名してくれる。今まで270人が協力してくれた」と語りました。

阿久比町の竹内強町議は、元町長や超党派の元議長、議員、学者らの呼びかけで署名推進の「町民の会」を結成した経緯を報告し、「5000人の目標に対し3000人を超えた。2月7日の『署名成功めざす町民のつどい』までに4000

人。2月中旬に目標をやりきると話しました。津島革新懇役員は「10団体で共同センターを立ち上げ、ニュースを発行し各団体の署名の取り組みを伝えていく」。カトリック教会役員は「毎週の日曜礼拝に来る信者に署名を訴えている」と発言しました。

すやま初美参院選挙区候補は、「各地で高校生が次々と署名してくれそうです。真先に戦場に行かされる若者は敏感です。共産党は43万以上の目標達成のため

投函(とうかん)ボックスを11カ所に設置し、次々と署名が入ってくる。南陽学区の夫婦は100人を超える署名を集めて持つてきた。

日本福祉大学では学生数の6分の1(1000人)以上を集めようと昨年12月から毎週、学内で昼休み宣伝に取り組んでいます。

3年の男子学生は「署名した学生が『おまえもやれよ』と友人に勧め

めたい手を増やし、2倍、3倍と運動の規模やテンポをあげます」と決意を語りました。討論に先立ち日本平

和委員会・平和新聞の布施祐仁編集長が「戦争法廃止200万人署名と野党共闘」と題して講演しました。

めたい手を増やし、2倍、3倍と運動の規模やテンポをあげます」と決意を語りました。討論に先立ち日本平

和委員会・平和新聞の布施祐仁編集長が「戦争法廃止200万人署名と野党共闘」と題して講演しました。